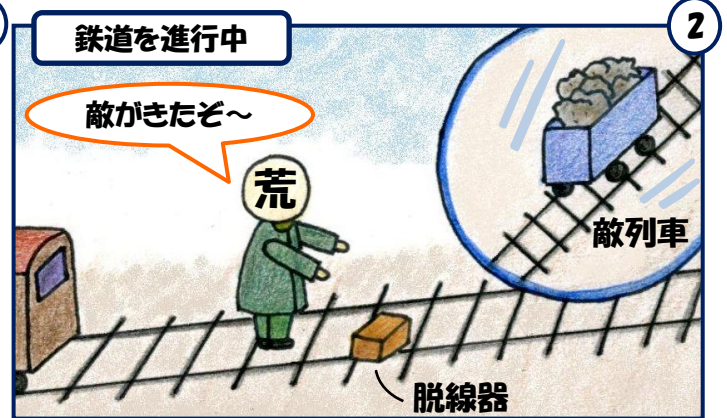


すごい ⑥
あらきやま
荒木山

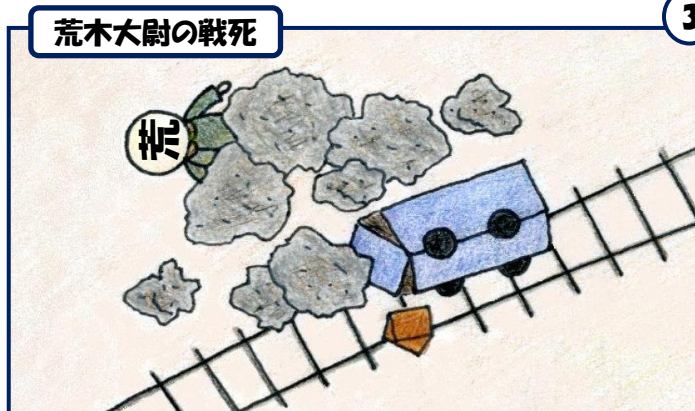
なぜ、荒木山というの？



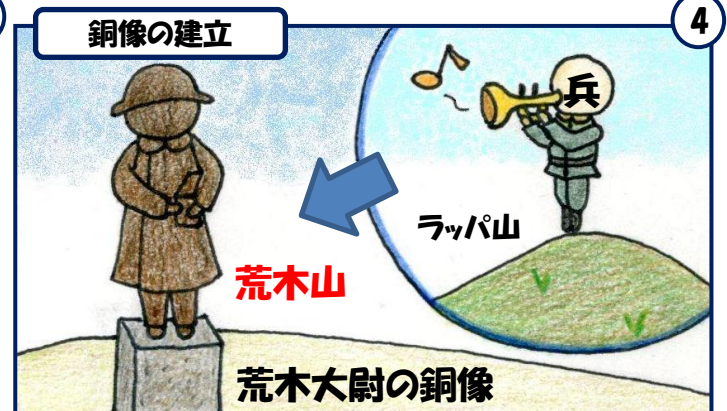
敵に囲まれた領事らを救出するため、荒木大尉の指揮する装甲軌道車隊が出発しました。



進行中、敵列車が突進してくるのを発見した荒木大尉は脱線器をもって進み線路に取り付け…



見事、敵列車を倒しましたが、積み込まれていた岩の下敷きになり戦死しました。



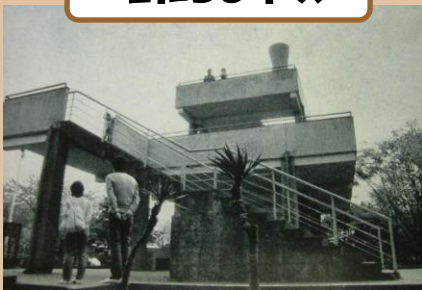
荒木大尉の死を悲しんだ兵たちが、当時、鉄道連隊のラッパ手の訓練が行われていた小高い丘に銅像を建てました。以来、“荒木山”と呼ばれています。

その後…

戦争のため物が不足し、荒木大尉の銅像は姿を消しました。



昭和36年頃



荒木大尉の銅像跡地に昭和36年に完成した展望台。高さ28メートルの2階建てで、1階は休憩所もかねていました。

その後

現在



現在では、荒木山の名前の由来に関する石碑と千葉公園周辺の地図(今昔)が設置されています。

～ 鉄道連隊の足跡を探す ～



荒木山のふもとにある
昭和8年に建立された石碑



荒木山山頂にある
陸軍が建てた境界石



昭和6年に完成した
事務所脇の演習用トンネル



運動広場の奥にある
架橋演習用の橋脚



南門入口にある
鉄道第一連隊演習場跡に関する解説版



演習に使用されたとされる
コンクリートの塊